



社会保険直方病院だより

はるか

■2020年10月発行 社会保険直方病院広報委員会編集

〒822-0024
福岡県直方市須崎町1番1号
電話 (0949) 22-1215 (代表)
HPアドレス <http://www.nogata-hp.jp/>

[Haruka]

2020
10月
第37号

[医療理念]

- 一. 患者中心の医療
- 二. 医療の質の向上
- 三. 地域社会に合った手づくりの医療
- 四. 安心と信頼を持たれる病院づくり
- 五. 経営の安定と職員満足度の向上

- P 01 院長挨拶
- P 03 回復期病棟開設のお知らせ
- P 05 常勤腎臓内科医
坂東Drインタビュー
- P 06 ご存じですか?
- P 09 部門紹介
- P 10 コロナ感染対策について
- P 11 ご案内とお知らせ



院長挨拶



病院長 田中 伸之介

病床機能転換と新型コロナウィルス感染症

令和2年度上半期、当院の取り組みの中で、最も多くの時間とエネルギーを費やした「病床機能転換」と「新型コロナウィルス感染症」につき報告します。

2025年、日本は団塊の世代が75歳を迎え後期高齢者となります。国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、かつて経験したことのない「超高齢社会」を迎えるわけです。これが俗に言う「2025年問題」で、わずか5年後のことです。最近は、「健康寿命」、「フレイル」、「人生100年時代」など長寿社会を意識したワードをよく目や耳にするようになりました。

疾病の予防と早期発見、そして急性期医療の充実で、長寿を手に入れることが可能となった近年、急性期治療後の生活の質 (QOL) を担保し、より健全な状態で在宅へ戻るため、急性期医療に引き続く回復期医療の重要性が見直されています。

そうした中、当院はこの8月に「病床機能転換」を図りました。超高齢化時代の本格到来、「2025年問題」に十分対応できる医療体制を整えることを念頭に置いた改革です。具体的には、従来からの急性期医療に加え、回復期医療も提供できるよう回復期リハビリテーション病棟(50床)を新設、リハビリスタッフ (理学療法士・作業療法士) も大幅に増員しました。これにより、整形外科領域を中心に術後リハビリテーションがより高いクオリティーで行える

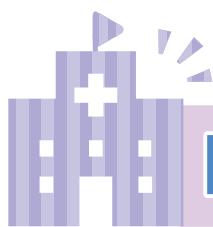
ようになりましたし、脳神経疾患の急性期治療後リハビリテーションも担える体制が整いました。高齢化率が高い直方鞍手医療圏の社会的ニーズにより一層応えることができるものと考えます。

もう一つが、春先からの「新型コロナウィルス感染症」です。長期にわたる面会制限で患者様ならびにご家族様には大変ご不自由をお掛けしておりますが、幸い9月末現在、当院職員や入院患者様に感染者は認めていません。また、当医療圏での爆発的感染拡大もみられていません。しかし、予想より早く訪れた新型コロナウィルス感染症の第2波とインフルエンザシーズン到来で、秋から冬にかけて医療現場が逼迫することは容易に想像できます。3月以降、地域保健所、県行政機関、医師会などと度重なる会議、検討を繰り返してきましたが、今後もさらに関係各所と密に連絡をとりながら、地域急性期医療の崩壊を招かない工夫と努力を重ねながら、感染症対策もしっかりと遵守したいと思います。

一般診療においては、この春から腎臓内科・透析センターに坂東健一郎先生（常勤医：産業医大第2内科）を招聘し腎臓疾患医療の強化を図りました。さらに秋から毎週月曜日の午後、呼吸器専門医の飛野和則先生（非常勤医：飯塚病院呼吸器内科部長）による呼吸器内科専門外来を開設しました。従来の循環器内科、消化器内科、糖尿病内分泌内科に加え、より一層、内科診療フィールドが広がるものと期待していますし、手術症例の増えてきた外科、整形外科ともども地域急性期医療の充実にも繋げたいと考えます。

急性期から回復期まで、「自分達がやりたい医療」と「地域住民から求められる医療」の実践を目標に職員一同頑張ってまいります。どうぞ、皆様にはご支援とご理解のほどよろしくお願い申し上げます。





NEW!!

回復期リハビリテーション病棟を新設!

直方病院は8月1日より、急性期病棟、地域包括ケア病棟に加えて、新たに「回復期リハビリテーション病棟」を新設しました。患者様が住みなれた地域で安心して療養いただけよう、より充実したリハビリテーション体制を整え、地域医療に貢献してまいります。

回復期リハビリテーション病棟とは?

急性期の治療を終えて、自宅に戻って生活ができるようにリハビリテーションを集中的に行う病棟です。(入院期間や1日のリハビリ訓練時間は、疾患・状態によって異なります。)

入院期間



180日
(最大)

リハビリ訓練期間



3時間/1日
(最大)

回復期リハビリテーション **4**つの特長

充実したスタッフ体制

理学療法士 16名
作業療法士 5名
言語聴覚士 1名
リハビリ助手 1名
計23名

(2020年10月1日現在)



退院後の生活を想定したリハビリ

入院中の生活すべてが社会復帰の準備として捉え、患者様ひとり一人に 対して、それぞれ退院後の状況を想定したリハビリを実施します。



多職種による総合的なサポート

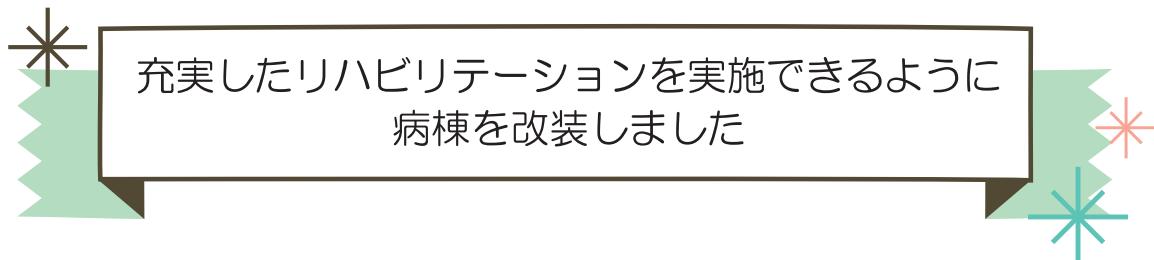
医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、ソーシャルワーカー、管理栄養士らでカンファレンスを行い、ひとり一人に 合った目標を設定し、退院後も安心して生活できるようにサポートします。



口から食べることをサポート

嚥下造影検査(VF)や嚥下内視鏡検査(VE)を行い、 食べ物を飲み込む様子を観察することで、患者様の 「食べる」「飲み込む」力を評価し、訓練を行います。





- ①病棟内に広いリハビリ訓練室を作り、
病室を出たらすぐにリハビリを実施できる環境を整えました。

【改装前】



【改装後】



訓練室にウォーターサーバーを設置しました。
リハビリの合間にぜひご利用ください。



- ②北側トイレを改装し、車椅子でも利
用しやすく、さらにプライバシーに
配慮したつくりにしました。

【改装後】



これからもりハビリの充実に
取り組んでいきます！

Introduction of a New Doctor

新任医師のご紹介

**坂東 健一郎** ぱんどう けんいちろう**出身地** 兵庫県神戸市**最終学歴** 産業医科大学医学部**所属医局** 産業医科大学 第2内科**専門分野** 腎臓内科・透析内科**資格** 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、
日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医、
難病指定医**趣味・特技** 学生の頃にアイスホッケーをしていました。気分転換に
バイクで出かけることもあります。*Interview*

2020年4月より、内科医長として着任された
坂東 健一郎先生にお話を伺いました。

—— 先生が医師を目指したきっかけについて教えてください。

私は神戸出身で、ちょうど高校生の時に阪神大震災を体験しました。幸い、自宅に大きな被害はなかったのですが、互いに支え合う体験を通じて、人の役に立つ仕事に就きたいと考えるようになりました。医師を目指そうと決めたのもその経験があったからです。

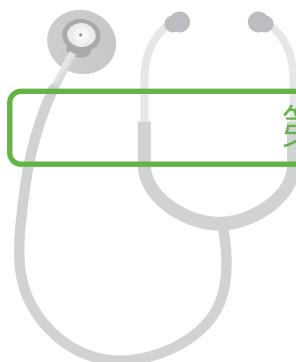
—— 直方病院の印象はいかがですか？

北九州で学生時代を過ごしたので、直方は身近な感じ。直方病院は建物も新しいので、きれいですね。透析センターには元気のいいスタッフが多く、職種間の壁がなく、風通しの良い印象です。

—— 最後に、直方病院での展望と地域の皆さんにひと言、お願いします。

透析センターでは、透析の導入から、シャントトラブルに対してのバルーン拡張(PTA)やバスキュラーアクセス手術も積極的に行い、長期透析の様々な合併症の精査治療にも対応しております。

某有名プロレスラーの「元気があれば、何でもできる」の言葉にあるように、元気でいられることが一番です。患者さまが元気に過ごせるように最大限の努力をしてまいります。

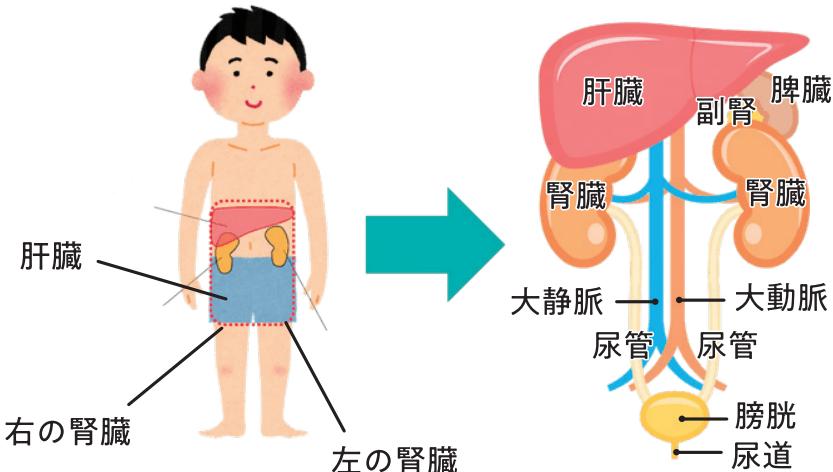


第31回 ご存知ですか？

腎臓

腎臓とは

腎臓は背中側の腰の辺りに2つあります。ちょうど手のこぶしぐらいの大きさでそらまめのような形をしています。



腎臓の働き

心臓や肺などと異なり、私たちが日常生活を送るうえで腎臓の働きを意識することはありませんだと思います。それでは腎臓はどのような働きをしているのでしょうか。

腎臓の働きには以下のものがあります。

主な働き

- ① 体内の老廃物の排泄
- ② 血液中の水分や電解質を一定に保つ
- ③ 血圧を適切に調節する
- ④ 骨を丈夫に保つ
- ⑤ 造血ホルモンにより赤血球の造血を促進する



生命を維持するために多くの重要な働きをしている臓器です。

慢性腎臓病とは

様々な原因で腎臓の働きが徐々に悪くなる病気を慢性腎臓病と呼んでいます。日本では成人の8人に1人にその疑いがあると言われ、生活習慣病の増加に伴い患者数は増加傾向にあります。

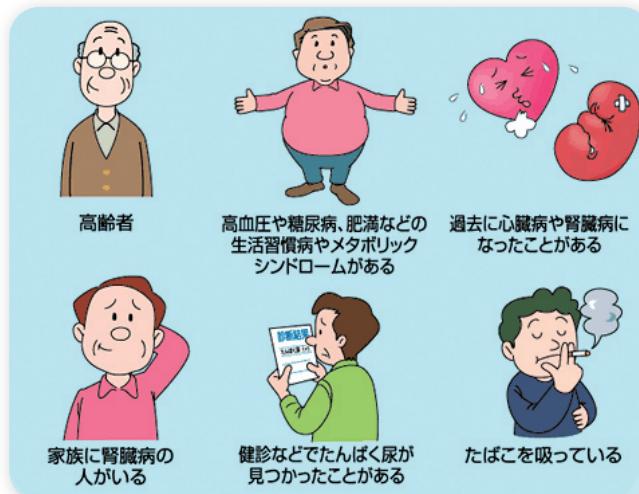
慢性腎臓病には腎臓そのものが悪くなる場合(糸球体腎炎など)や糖尿病や高血圧などの生活習慣病から腎臓が悪くなる場合、腎毒性物質や脱水・尿路系の疾患による場合などがあり、それぞれ治療法が異なります。

また腎臓は我慢強い臓器であり、軽度から中等度の機能低下では自覚症状がないことがほとんどです。そのため気づかぬうちに病状が進行し、発見した段階では腎機能低下を止められない場合も少なくありません。そのため早期発見や早期治療が重要です。

Q. どんな人が慢性腎臓病になりやすいの？

- ◆糖尿病
- ◆高血圧
- ◆肥満
- ◆脂質異常症
- ◆喫煙
- ◆加齢
- ◆過去に腎臓病にかかったことがある
もしくは家族に腎臓病の人がいる

⚠ こんな人は要注意です！



上記のような疾患や生活習慣を持つ方が慢性腎臓病になりやすいといわれています。特に糖尿病と高血圧が重要な基礎疾患です。

生活習慣病による腎臓病の患者の割合は年々増加傾向にあり、とりわけ糖尿病からの腎臓病(糖尿病性腎症)は近年の本邦における透析導入患者の原疾患の約半数を占めています。

また高血圧からの腎臓病(腎硬化症)を合わせると透析導入患者のおおよそ3人のうち2人程度が生活習慣病を原因として透析などの腎代替療法を受けざるを得なくなっています。

腎臓病予防が心臓病や脳卒中の予防に

腎臓の働きが正常の60%未満になると心筋梗塞や脳卒中になる危険が増すといわれています。これらの疾患により患者さんの生命予後はもちろん生活の質(QOL)も大きく損なわれることが懸念されます。

つまり慢性腎臓病は単に腎臓の働きが低下して透析が必要になる病気というだけではなく、生命予後(寿命)や生活の質(QOL)も損なわれうる重大な病気です。

Q. 慢性腎臓病であるかを知るためにはどうしたらいいの？

腎臓の働き(腎機能)は血液検査や蓄尿検査、腎臓の障害は尿検査により判定されます。

慢性腎臓病の診断基準は、

- ①尿検査、画像診断、血液検査、病理などで腎障害の存在が明らかであり、特に 0.15g/gCr 以上のタンパク尿 (30mg/g Cr 以上のアルブミン尿) がある
 - ・・・すなわち腎臓病の所見がある

- ②糸球体濾過量 (GFR) <60
 - ・・・すなわち腎臓の働きが60%未満

①、②のいずれか、または両方が3か月以上持続することで診断されます。

慢性腎臓病の診断基準には自覚症状の有り無しが含まれていないことがわかります。つまり慢性腎臓病は検査をしないと診断に至らないため、無症状であっても健康診断等を含めて定期的に検査を行う機会を持つことが重要です。

慢性腎臓病の進行が遅れるということは、単に腎臓が守られるだけではありません。結果的に全身の臓器が守られることに繋がります。腎臓と身体を健康に保ちましょう。

部門紹介

外 来

看護師長 野正 雪子

外来看護師は各診療科・循環器センター・内視鏡室・救急室・中央処置室を担当しています。年間目標として「常に看護実践能力の向上を目指す」を掲げ、安心安全で円滑な診療介助ができるように一人一人が日々研鑽しています。接遇に於いても笑顔で目配り気配りの配慮する対応と患者様のニーズに応じるように努めています。

又、外来での安全な医療環境を提供する為「感染しない・感染させない」をモットーに感染予防対策を徹底した業務に励んでいます。

【外来】



【循環器センター】



【内視鏡】



新型コロナウイルス感染症(COVID-19) の感染予防対策について

スプラッシュガードについて

直方病院では、飛沫感染対策に効果がある『スプラッシュガード』を手術室と救急外来で使い感染防止に努めています。

『スプラッシュガード』とは・・・

L型の透明プラスチック様の素材で作られており、透明のビニール袋を貼り付け患者さんの顔を覆うように置いて使用します。(写真1) 透明で十分な空間が確保されているので、それほど圧迫感は感じない仕様となっていますし、息苦しさもありません。手術室で麻酔をかけたり、覚ましたりする際(写真2)のように使用しています。

麻酔時は通常以上に飛沫飛散の可能性が高くなります。また、救急外来では、感染が不明な患者さんの対応をしますので、この『スプラッシュガード』の使用は感染対策に有効です。



写真1



写真2

～マスク等医療物資のご寄付に対するお礼～

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、複数の企業・団体様、個人の方から当院へマスクなどの医療物資のご寄付を多数いただいております。当院へのご配慮をいただいておりますことに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

ご寄付いただいた医療資源は大切に使用させていただき、引き続き効率的な運用に努めてまいります。依然として緊張状態が続く医療現場のスタッフにとって、地域の皆さまからの温かいご支援、ご声援が何よりの励みになっています。これからも全職員が一丸となって、安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいります。



※受付時間は、8：30～11：30、13：30～16：30

令和2年 10月1日現在

内科（腎臓内科・無呼吸症候群・神経内科除く）は、午後休診。土曜日は、全科休診

(診療科によって受付・診療時間が異なりますので、ご確認ください)

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	備考
一般内科・総合内科	8:30～11:30	坂東 健一郎	日吉 哲也*	加來庸一郎*	奥野 宏晃*	石橋 俊明*	内科診察は原則、午前中のみです。但し、急患はこの限りではありません。専門領域以外の一般内科の診療も致します
肝臓内科		坂本 茂	坂本 茂		坂本 茂		
消化器内科				向坂 秀人*	内田洋太郎*	土居 雅宗*	
糖尿病・内分泌科		杉本 薫	杉本 薫	有満 啓史*(第1・3・5)			
循環器内科				満岡 遼*(第2・4)	杉本 薫		
脳神経内科		平川 晴久	五十住 和彦	園田 信成*	平川 晴久	五十住 和彦	
		立田 穂那実	荻ノ沢 泰司*		北野 哲司*	立田 穂那実	
		13:30～16:30			五十嵐 友紀*		
血液内科	8:30～11:30			成毛(けむ)哲思*			
腎臓内科	8:30～11:00					中西 司*	
無呼吸症候群外来	13:30～16:30		坂東 健一郎		坂東 健一郎		
物忘れ・認知症外来					川波 潔*		
呼吸器内科				福原 康介*			
外 科	13:30～16:30	飛野 和則*					9/14より毎週月曜日午後診察開始
	8:30～11:30	田中 伸之介 兒玉(ヨウタ)利勝 坂牧 仁	田中 伸之介 兒玉(ヨウタ)利勝 森本 光昭	田中 伸之介 兒玉(ヨウタ)利勝 坂牧 仁	田中 伸之介 兒玉(ヨウタ)利勝 森本 光昭	田中 伸之介 兒玉(ヨウタ)利勝 坂牧 仁	午後は手術の為休診となることがあります。
整形外科	8:30～11:30 (新患:8:30～11:00)	西田 智 濱田 大志*(第1・3・5) 西村 春来*(第2・4)	西田 智 古賀 陽一 樋高 由久	古賀 陽一 樋高 由久	西田 智 古賀 陽一 樋高 由久	西田 智 川崎 展*(第1・3・5) 山根 宏敏*(第2・4)	午後は手術の為休診となることがあります。
			大友 一*(第2・4)				
骨粗鬆症外来	13:30～16:30		西田 智 (予約のみ)		西田 智 (予約のみ)		
スポーツ整形外来	13:30～16:30			熊谷(クマガヤ)達仁 (第2のみ)			
心臓血管外科	13:30～16:30					松元 崇*	紹介の方のみとなります。
泌尿器科	8:30～11:30 13:30～16:30	濱崎 隆志	濱崎 隆志	濱崎 隆志	濱崎 隆志	濱崎 隆志	水曜の午後は手術の為休診となることがあります。
耳鼻咽喉科	8:30～11:30 13:30～16:30	鳥谷(トリヤ)陽一	鳥谷(トリヤ)陽一	鳥谷(トリヤ)陽一	鳥谷(トリヤ)陽一	九大医師*	金曜日午前のみ
皮膚科	8:30～11:00			石橋 侑花*		柴山 慶継*	

* は、非常勤医です。

※診療予約の変更は、月曜日～金曜日13：30～16：30（但し、土日祭日は除く）

急患の場合、この限りではありません。ご連絡の上、保険証・診察券をお忘れないよう、気を付けてお越し下さい。 TEL 0949-22-1215



【最寄の交通機関】

JR福北ゆたか線	直方駅より徒歩	約1分
平成筑豊鉄道	直方駅より徒歩	約1分
筑豊電鉄	筑豊直方駅より徒歩	約8分
西鉄バス	西鉄直方バスセンターより徒歩	約1分
JRバス	直方駅バス停より徒歩	約1分